

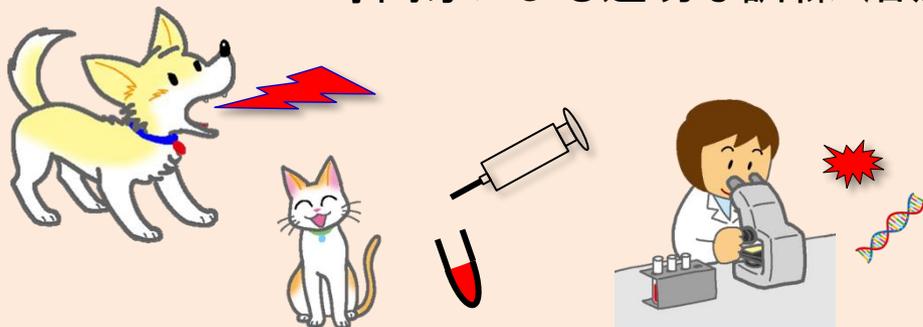
大学と自治体、企業、NPOの協働による高齢者の福祉 向上を目指した動物との共生社会の実現と拠点形成

1.3 億円程度
(事業期間3年間)

東京都では全国一の高齢者問題が発生しています。**安全で従順な動物介在活動適格
伴侶動物**を診断・訓練・治療等で確保し、**動物介在活動**による**高齢者の健康寿命の
延伸**等、**福祉対策の一助**となるよう**動物との共生社会の拠点**を形成します。

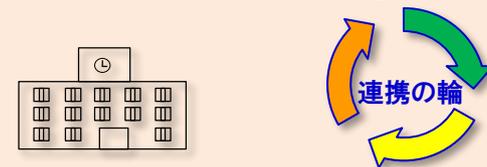
“動物介在活動”適格伴侶動物を確保

- 病原体が居ないことを確認
- 専門家による適切な訓練・治療



“動物介在活動”のプラットフォーム形成と活動

- 大学、ボランティア、NPO、企業、東京都
- 福祉施設



“都民公開講座”の開催

- しつけ教室
- ペット由来感染症対策



事業内容の詳細

○行動修正訓練と治療・人獣共通感染症診断による動物介在活動適格伴侶動物の確保

- ・動物介在活動には、従順で愛らしく、健康な伴侶動物が重要である。そこで、動物行動学・老齢医学的手法で、一般家庭や公的飼養施設の伴侶動物に対し、行動修正訓練・治療を施し、人獣共通感染症病原体検査を実施し、安全な動物を確保する。

○“動物介在活動”のプラットフォーム形成と活動

- ・大学、ボランティア、NPO、企業、東京都が連携し、動物介在活動の拠点を形成し、高齢者福祉施設等にて、動物介在活動を行う。さらに公開講座を開催し、ペットのしつけ教室や人獣共通感染症についての正しい理解や予防策を普及する。

事業実施による効果

- 動物介在活動による高齢者の健康寿命の延伸、人獣共通感染症対策は、都民の安全を確保できる。